

# 例会報告



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ● 会長 遠藤 隆浩
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988 ● 幹事 垣内 秀文
- 大垣共立銀行 高山支店 4F ● 会報委員長 長瀬 達三

第2610回例会 令和2年2月7日  
お祝い・ニコニコ委員会

## ＜会長の時間＞

今日はたいへん寒い朝でした。毎年一回ほど朝水道が凍りついて使えない日があるんですが今年は暖冬なんではないのかなと思っていましたら今朝水道が凍りついていました。遅まきながら冬を感じました。

今日は井上博成さんに卓話をさせていただきます。井上さんは20代ながら京大大学院に所属しながら小水力発電等自然エネルギー事業を起業し、また高山の地に大学設立を目指しています、大きな視点で地域のことを考えて事業を行うという高山市にとっては先々楽しみで頼もしい青年です。

いよいよ確定申告の季節です。個人事業者が減りつつあります。そして時代を反映して株の申告や不動産譲渡の申告が増えています。皆さまもお忘れなようよろしくお願いいたします。

## ＜幹事報告＞

### ◎RI日本事務局より

- ・2月のロータリーレートについて 1ドル 110円(現行どおり)

### ◎台北東海ロータリークラブより

- ・台北東海ロータリークラブ創立25周年記念式典のご案内  
日時 4月25日(土) 18時00分開始  
場所 台北国賓大飯店(アンバサダー台北)

### ◎飛騨高山国際協会より

- ・シビウ国際演劇祭国際ボランティアスタッフ募集について(ご案内)  
派遣先 第27回シビウ国際演劇祭(ルーマニア・シビウ市)  
派遣期間 6月5日(金)~23日(日) 19日間

## ＜受贈誌＞

社団法人高山市文化協会(広報高山の文化No216)

## ＜出席報告＞

	出席者数	会員数	出席率
本日	28名	40名	70.00%

## ＜本日のプログラム＞ お祝い

### ◎会員誕生日 (当日欠席 野尻 陽子 2.13)



遠藤 隆浩、鴻野 幸泰、折茂 謙一、山下 直哉、黒木 正人  
2.2、2.13、2.7、2.3、2.16

## ◎夫人誕生日

- 田中 晶洋 晶 子さん 2.24
- 杉山 和宏 啓 美さん 2.19

## ◎結婚記念日

- 岡田 贊三 S48.2.10
- 田邊 淳 H6.2.26
- 杉山 和宏 H15.2.23

## ◎出席表彰

なし

## ◎在籍周年記念表彰

なし

## ◎3ヶ月表彰

- ・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・垣内 秀文 ・下屋 勝比古
- ・杉山 和宏 ・田中 武 ・松田 康弘 ・米澤 久二



## ニコニコ委員会 委員長 井上 正

本日は私の甥でもあります、一般社団法人飛騨高山大学設立基金代表理事の井上博成さんにお越し頂きました。

井上さんは平成元年高山市生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程在籍中。自然エネルギー及び地域金融を研究し、森林の利活用を目的に飛騨五木株式会社および小水力発電の飛騨高山小水力発電株式会社を設立。また森林利活用の視点での地域金融を創出すべく管理型信託会社の立ち上げにもかかわっています。今後高山に大学を設立すべく、一般社団法人飛騨高山大学設立基金を設立し、地域からのイノベーション創発を目指す井上さん、ご講話をどうぞよろしくお願いいたします。



飛騨高山における大学設立と地域産業創出における問題意識  
一般社団法人飛騨高山大学設立基金代表理事 井上 博成 様

# 例会報告

【報告】  
ももとの私自身の高山での活動の夢

## 地域に根付き各地域に広がる大学/大学院の設立

- 環境系/文化系の学際的な総合大学
- 高校時代からの問題意識  
(他地区から高山への訪問動機は観光などが中心。また同世代人口の移出と移入の少なさの実感。)
- 当時政治から設立を考えていた私に植田和弘先生から  
**産業育成と共にボトムアップでの設立**をすべきと助言を頂く。
- 再生可能エネルギー（産業）×地域 当初のキーワード  
→2013年以降、産業としての再エネ産業化PJへの関わり

自然資本の価値最大化を目指して取り組んでいること  
小水力発電事業

【対象】  
研究・実践の対象

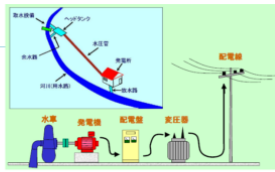


図 水廻式水力発電方式の基本構成  
表 水力発電の規模による分類

◇対象  
ミニ水力 (100kw~1000kw)  
マイクロ水力 (100kw程度以下)

◇POINT  
・これまでの日本での開発の多くが  
【小水力】区分以上の開発で環境への影響  
負担が大きかった

分類	規模
大水力	100,000kW程度以上
中水力	10,000kW程度 - 100,000kW程度
小水力	1,000kW程度 - 10,000kW程度
ミニ水力	100kW程度 - 1,000kW程度
マイクロ水力	100kW程度以下

資料) 上図：全国小水力利用推進協議会資料 下表：NEDO「NEDO再生可能エネルギー白書」(2010)

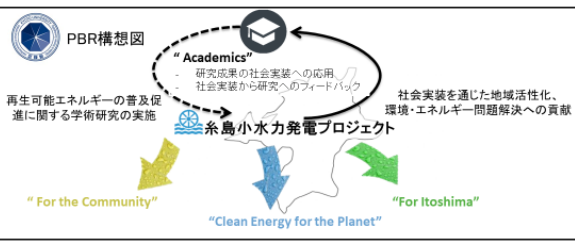
【岐阜県高山市での取り組み】  
自らも実践/市民時報から (2016年11月28日)



飛騨高山小水力発電株式会社 (他にも複数法人の設立)  
資本金 8000万円 総事業費 7億1千万円  
代表取締役 井上博成  
飛騨信用組合様の融資により4台建設  
一般社団法人 飛騨高山大学設立基金設立 (2017年3月3日)  
発電機4台にて、住宅にすると約640軒分の電力量を生み出す。

【5台目】  
福岡県糸島市での会社設立

- ・京都大学の同級生のアレックス君と会社 (糸島小水力発電株式会社) を設立。
- ・京都大学の一部資金提供も頂き、完成。2020年2月15日～売電開始予定。
- ・今後、福岡県・佐賀県など3か所追加で発電所を建設する計画を立てている。
- プロジェクトベースドリサーチ (PBR):  
学術研究成果の社会実装と、社会実装を通じて得られた知見の学術研究への反映を目的としたプロジェクト(事業)をもとにしたリサーチ(研究)再生可能エネルギーの普及促進に関する学術研究実施と社会実装を行うことを目的としたPBRとして、京都大学大学院思修館のプロジェクトベースドリサーチ (PBR) として、2016年7月に承認され、助成金を受け2016年9月に糸島小水力発電(株)を設立



事業化に伴う、問題意識の拡張  
⇒全国の地域に優秀な人材がいれば変わるのでは？  
飛騨高山文化環境大学 (仮称) について

地域には【自然資本】や【文化資本】など  
気づけていない価値の源泉が全国の地域にはある。  
それらの価値を見出し、新たな地域社会に対して  
インパクトをもたらすことができる高等教育の展開。

## 飛騨高山文化環境大学 (仮称) 2024年4月開学目標

準備委員会の設立 2019年11月2日スタート

建学の精神および学部学科

### 自覚と調和

自覚：自ら目覚め、行動していく人材へ (主体性)  
調和：自らを律し、地域社会に調和できる人材へ (協調性)

### 経済学部

- 一環境経済学科 (Global/Local)
- 一文化経済学科 (Local)
- 十通信制 (リカレント含む)

※当初想定。徐々に学部拡張、大学院設置予定。

## <ニコニコボックス>

### ●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

本日は飛騨高山大学設立基金 代表理事 井上博成様にご来訪頂いております。お忙しい中ありがとうございます。後ほどの卓話を楽しみにしております。よろしくお祈りします。また今日はシーズン一番の冷え込みで、忘れかけていた冬が身に染みています。皆様におかれましても世間を騒がせております病原体やりに罹らないよう、どうぞご自愛くださいませ。

### ●井上 正さん、挟土 貞吉さん、黒木 正人さん

本日はニコニコ委員会が担当させていただきます。卓話は私の甥っ子の井上博成君に、彼が主体的に取り組んでいます森林の利活用や小水力発電、その先にある大学設立構想について話して戴きます。宜しくお願いいたします。追伸：甥っ子ガンバレ!! 黒木より

### ●阪下 六代さん

井上博成さんのご来会を歓迎いたします。大学設立構想の成功を祈念しております。

### ●小森 丈一さん

俳壇に採り上げられましたので。

### ●鴻野 幸泰さん

毎度鴻野旅館の弁当をご利用いただき誠にありがとうございます。

### ●岡田 賛三さん

1/15~4/14までロサンゼルスハリウッドルビーシアタージャパンハウスにて当社の家具が展示されています。外務省の企画です。

### ●塚本 直人さん

本日は飛騨らしい冷え込みで冬を実感しました。ピリッとしますね。お正月明けから家族で30分程のウォーキングを始めました。運動不足の解消とコミュニケーションのやりとりにとでも役立っています。長く続くことを祈って。

### ●平 義孝さん、斎藤 章さん、田中 武さん、田邊 淳さん

2月7日は「北方領土の日」です。1855年のこの日に、日魯通好条約が調印されたことにちなみ、北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを図るために設定されました。毎年、「北方領土返還要求全国大会」が、東京で開催されるほか、この日を中心として全国各地で講演会やパネル展、返還実現のための署名活動などさまざまな取組が行われています。